

# 災害時対応研修と 実地訓練のご案内

平成30年2月に発生した記録的な大雪による影響により、福井県では国道8号線に最大約1,500台の車両が立ち往生しました。現地SSでは在庫切れによる臨時休業、営業時間の短縮、販売数量の制限を余儀なくされました。

数十年ぶりに発生した豪雪で出荷基地からSSまでの補給経路の確保など、地域としての課題が明確になりました。

近い将来に高い確率で発生が予測されている南海トラフ地震や首都直下地震の発生時における対応など、災害時の燃料供給拠点としての期待がますます高まっています。

本年度の災害時対応研修会・実地訓練は、毎年好評を頂いております机上の店頭混乱回避シミュレーションを刷新し、各種災害への対応方法などを座学で学びます。その後SS店頭にて非常用電源を使用した緊急車両への給油のほか、新たな項目として発災時の給油設備の安全点検などを行ないます。

本事業の趣旨は、来るべき災害に際し、組合員各位をはじめ、地域社会の安心・安全を担保する一助となることをご理解頂き、御参加頂きますようお願い申し上げます。

## 2018.11.21 水

茅ヶ崎石油株式会社 本社会議室 (集合場所)  
実地訓練会場は茅ヶ崎石油株式会社 ルート1茅ヶ崎SSになります。

12:45 ▶ 17:00 [受付12:30]

### 災害時対応研修

12:45~14:45

- 1 地域災害への貢献事例 (福井豪雪)
- 2 南海トラフと首都直下地震がもたらすSS業界への多様な影響
- 3 消防庁ガイドラインの臨時的対応事例
- 4 災害時供給協定とSSの供給責任について
- 5 SNS等を活用した無料安否確認システムの構築アドバイス
- 6 各自治体が主催する防災訓練とSSの参画スタンス
- 7 エネ庁「災害対応ガイドライン」にもとづく中核SS等の報告義務
- 8 ガイドライン構成
- 9 店頭混乱シミュレーション訓練

### 災害時実地訓練の内容

15:00~17:00

#### 1. 実地訓練

##### 大規模災害時の店頭オペレーション訓練

- ・発災時の給油設備の安全点検
- ・関係機関への緊急時報告の実際
- ・停電を想定した緊急用発電機の稼働
- ・メーカー等の協力による通常電源と非常用電源の切り替え手順の説明と実践
- ・緊急用自動車等への実際の給油
- ・給油混乱回避のための案内・告知ツールの設置 (緊急車両専用レーンの設置等)
- ・営業方針の指示

#### 2. 振り返り

##### 実地訓練の総括

- ・実地訓練の総括
- ・「訓練の手引き」による手順の再確認
- ・質疑応答 ・アンケート

### 募集要項

**募集対象** 中核SS・小口燃料配送拠点・住民拠点SS及び一般SSの経営者及び従業員の皆様

**受講費用** **無料** 研修会資料も無料です。なお、交通費等ご負担ください。  
※本研修会は資源エネルギー庁の「平成30年度緊急時石油製品供給安定化対策事業」の補助金をもとに運営しております。

**受講申込** 裏面の申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。(電話不可)

**募集定員** **30名**  
定員になり次第締め切らせていただきます。